

平成 29 年度  
学校関係者評価 報告書

平成 30 年 3 月

学校法人 康学舎  
上尾中央医療専門学校  
学校関係者評価委員会

# 平成 29 年度 学校関係者評価報告書

学校法人 康学舎  
上尾中央医療専門学校  
学校関係者評価委員会

上尾中央医療専門学校 学校評価委員会が実施した平成 29 年度自己評価結果に基づき、下記により開催した学校関係者評価委員会における審議結果を、以下のとおり報告いたします。

## 記

### 1 学校関係者評価委員

委員長	元上尾市立上尾中学校校長	講内 靖夫
副委員長	上尾中央医科グループ協議会 リハビリテーション部 部長	奥村 博文
委員	上尾中央医科グループ協議会 給与労務人事部 統括部長	福田 精一
委員	医療法人社団愛友会 上尾中央総合病院 事務部長	久保田 巧
委員	医療法人社団瑞心会 杉並リハビリテーション病院 リハビリテーション科 科長	干場 竜志
委員	医療法人社団協友会 横浜なみきリハビリテーション病院 リハビリテーション科 係長	後藤 純平
委員	上尾中央医療専門学校 作業療法学科 学生保護者	印南 千鶴
委員	上尾中央医療専門学校 理学療法学科 卒業生 (医療法人社団 愛友会 伊奈病院 リハビリテーション科 理学療法士)	荻原 佑佳梨

## 2 学校関係者評価委員会

### (1) 第1回委員会

①日時 : 平成29年6月27日(火) 14:00~17:00

②場所 : 上尾中央医療専門学校 織物手工芸絵画室

#### ③会議概要

- ・昨年度の活動報告と課題点
- ・本年度重点目標並びに事業計画説明
- ・本年度自己評価項目の説明
- ・授業並びに校内見学

### (2) 第2回委員会

①日時 : 平成29年9月16日(土) 14:00~17:00

②場所 : 上尾中央医療専門学校 講堂

#### ③会議概要

- ・平成29年度中間自己評価について報告
- ・上記内容に対する意見や提案
- ・学生、保護者アンケートについて決定

### (3) 第3回委員会

①日時 : 平成30年2月3日(土) 14:00~17:00

②場所 : 上尾中央医療専門学校 織物手工芸絵画室

#### ③会議概要

- ・平成29年度学校アンケート(学生・保護者対象)の結果報告
- ・平成29年度最終自己評価内容について報告
- ・上記内容に対する評価の妥当性や改善案についての意見や提案
- ・結果の公表について
- ・次年度について

## 3 評価の目安

### (1) 学校自己評価

- ・評価小項目についてチェック項目を活用し、4段階で自己評価を実施。  
4 : 適切      3 : ほぼ適切      2 : やや不適切      1 : 不適切

### (2) 学校関係者評価

- ・自己評価が適切になされているか、3段階で評価。評価者8名分の評価を割合で表記する。  
A : 適切      B : ほぼ適切      C : 不適切

#### 4. 評価結果

##### **基準1 教育理念・目標**

###### 1) 評価

A	B	C
適切	ほぼ適切	不適切
8名	0名	0名

###### 2) 意見等

- ・周知の方法は、教員自身が理解し学生に周知する方法の一考を。ワークシートと連動させる等。
- ・中長期計画によっては、臨床実習を担う現場への影響も考えられるため、チーフクラスへ周知を希望。

##### **基準2 学校運営**

###### 1) 評価

A	B	C
適切	ほぼ適切	不適切
8名	0名	0名

###### 2) 意見等

- ・「課題」「今後の改善方策」は、次年度に向け具体的に明確に示せると良い。
- ・意思決定システムについて、効率化という視点もいずれ必要になってくるように思う。(少人数だからこそ一人一人の負担を減らす等)

##### **基準3 教育活動**

###### 1) 評価

A	B	C
適切	ほぼ適切	不適切
8名	0名	0名

###### 2) 意見等

- ・本校8つの特色を前面に掲げ、意識して実践を。
- ・3-12-2(教員の資質向上への取組みを行っているか)についての取組がしっかり行われており、平成30年度に向けて動いていると思った。
- ・研修日程等の調整は大変難しい内容だと感じた。(個々による為)
- ・平成29年度より開始の(卒業生およびその上司を対象とした)アンケートを継続してほしい。最終的には卒業生が関わった患者様、利用者様、ご家族からのコメント、満足度などが一部でも聴取できると良い。

#### 基準4 学修成果

##### 1) 評価

A	B	C
適切	ほぼ適切	不適切
8名	0名	0名

##### 2) 意見等

- ・合格率 100%を目指して、学校運営がしっかり行われていると感じた。
- ・例えば、卒業生の生涯学習履修についても把握できると、卒業生の社会的貢献度の指標になるのではないかと。(認定や専門など)

#### 基準5 学生支援

##### 1) 評価

A	B	C
適切	ほぼ適切	不適切
7名	1名	0名

##### 2) 意見等

- ・OB会の運営が、ますます活気づいていると思う。
- ・経済的な支援も十分満たされ、課題となるかは微妙ですが、PTの奨学金制度もあるとより充実するのではないかとと思う。
- ・退学者が出ないように、入学試験の時の選考（特に最後の方の入試）は基準を満たしているかしっかり合否してほしい。
- ・実習地訪問等での学生と教員のやり取りは、他校と比べて最も良い印象を受ける。これも数値化できると強みになる。

#### 基準6 教育環境

##### 1) 評価

A	B	C
適切	ほぼ適切	不適切
8名	0名	0名

##### 2) 意見等

- ・新規に対応したことは記載してはどうか。
- ・学習環境としての図書室の活用、利用について検討が必要であると思う。
- ・事情はあると思うが、図書室の利用時間や、学校が閉まる時間について、学生からの声を大切にしたい。

### 基準7 学生の受入れ募集

#### 1) 評価

A	B	C
適切	ほぼ適切	不適切
8名	0名	0名

#### 2) 意見等

- ・ 精力的に取り組まれており、継続を希望する。いかにOTを知ってもらい、オープンキャンパスに来てもらうかがポイント。高校教員にアピールできる場の創出を考えても良い。

### 基準8 財務

#### 1) 評価

A	B	C
適切	ほぼ適切	不適切
8名	0名	0名

#### 2) 意見等

- ・ 最近では地方出身の学生が減少しているようだが、例えば上尾中央総合病院や伊奈病院と寮を共有することはできないだろうか。

### 基準9 法令等の遵守

#### 1) 評価

A	B	C
適切	ほぼ適切	不適切
8名	0名	0名

#### 2) 意見等

- ・ 特になし

### 基準10 社会貢献・地域貢献

#### 1) 評価

A	B	C
適切	ほぼ適切	不適切
8名	0名	0名

#### 2) 意見等

- ・ 特になし

## 5. 総評

- ・未来が求める「人」になる、という部分がずっと変わらずあり、「社会人・医療人として」という部分に加え、学科長の挨拶にもあるように「人として」がすべての基本ではないか。学生生活の中でもお互いのコミュニケーションなどもすべてつながっていくところであるため、大切にしてほしい。
- ・常に「先々プラスになることができることは何か」ということを考え、一步一步前進しているのを実感してうれしく思う。特に大きなことはできないかもしれないが、先ほど話にもあがったような学生の希望やアンケート結果から図書室のことなど話があったが、学生のニーズに少しでも応えられるように、一步一步何かできることは常に努力していただきたい。
- ・この場に参加させていただいたことで、大変勉強になることが多かった。自分は病院にいるが、実際、学校との係わりと、学生を見る立場ということになってくる。今も評価実習で学生が頑張っていると思うので、少しでも力になれば、支えていければと考えている。
- ・一保護者として、この会に参加したことが、学校の指導はしっかりとしており、一生懸命子供たちのことを見てくれているのだなということが分かり、この学校に娘を入れてよかったと思った。よい学校だということをもっと知ってもらえるように広めていけたらと思った。
- ・適切に評価されていると思う。評価が始まったときから、聞くたびにどんどん変化している様子がとても感じられ、先生方の努力の賜物ではないかと感じる。第三者評価は表面上受かるためにやるものは結構簡単にできてしまう。そうではなく、中身を理解し本当に何が目的なのかというところをよく感じとり、本当の意味での第三者評価というところを感じていろいろと改善しているということがとてもよく分かる。今後さらにより学校に発展していくことだろうと思うので、是非また支援させていただきたい。今後とも是非頑張してほしい。
- ・この会に参加させていただき、たくさんのことを勉強させていただいた。実際、現場で上尾医専の学生と接する機会があると、本当に熱心な学生が多く、自分自身も毎年刺激をもらっているという現状である。先生方とお話してもそうだが、授業風景も含めて、アットホームでとてもよい学校だと改めて感じた。会議もとても分かりやすかった。
- ・全般的に非常に真摯に取り組んでいる様子が伺えた。一方で、人口減少の環境にあっけいかに効率化するか、やらなくてよいことをどうやって見つけるかという視点も必要かと思う。学校は少人数の運営のため、業務が減ることは難しいと思う。一人一人の業務負荷とやりがいのバランスを保ち、モチベーションアップにつながっていくイメージが持てると、教員も学生もイキイキし、それが患者様・利用者様・ご家族にプラスをもたらすのではないだろうか。病院ではそのような課題に直面しているため、一意見として。
- ・授業風景を見させていただいたり、今日も学生が一生懸命楽しそうに勉強したりしていたが、本当に学生たちが楽しそうで、先生との関係もきっとよいものなのだろうということが窺い知れた 2 年間だった。第三者評価に向けて、先生方も、職員の方々も一生懸命やっている姿というのが、他の学校との違いだと思う。皆さんが一生懸命やっている姿が、学生や保護者だけではなく、外部の方に学校の様子を、どうやって知らせることができるかが、これからのこの学校の将来像のような気がする。これだけ一生懸命頑張っているのだから、あとはどうやって知らせるかということをは是非、今後の目標にしてほしい。

以上